

全国合同② 演奏について

2022/10/31 練習

指揮 鳴海 卓

「木」

- 3 小節 出だしの「〇っぼん」前奏で息を深く吸って、体を使って少し長めに発生して響かせる。
- 4 「木の中に」 「木」少し長めに
9 小節目まで 木が凜と立っているイメージを持って少し硬めにうたう。
- 8 「風に震えている」心がトキメいているイメージを持って
練習番号①は全体をしガートで広がりをもって
- 15 「突っ切ってゆく」力強く
- 18 「あって」全パートそろえることを意識する
- 25 「ひとつの肉体の中に」根源的なものを感じて、豊かな肉体を柔らかな声でうたう。
に〇 無声音を大切に深く 〇い 母音をやわらかく
- 29 にくたい Sop は声の変換点なので難しいが音が下がらないように
- 30 「その宮」生命の宿るところで大切なところであることを意識する
- 33 ためている たっぷりと広がりを感じて
- 38 ピアノ伴奏の変化に注目（2分音符）して大地を（足の裏）を感じて歌う
- 45 どこまでも広がる感じでたっぷりと

「共に生きる町」

- 18～30 小節 女声 cresc. dim. の記号を確認してうたう
- 18～19 共に生きる町があって欲しいという気持ちを込めて呼びかけるように
- 20 共に生きる町はの付点四分音符は「きっとある」という確信をもって歌う
- 21 ないんです〇の音下がらないように
- 22 「共に」はしっかり意識してうたい出す
- 24～26 「平和の」たっぷりと 「花を植え」丁寧にやわらかく
「花の香りともに～」ロマンチックにいい香りがすると思って
「かぎながら」鼻濁音
「花の香り～」ユニゾンを意識して
- 28～29 地位高いものもない→その町〇 太くつないで 〇は明るい響きで
- 35～43 混声の部分はピリッとリズムミックに、言葉のひとつひとつをかみしめて硬めに
「平和」「糧食」「平等」はきちんとうたう
- 37～38 小さな美しい夢を→育てるその町で つなげる。花が開くイメージで
- 40～41 労働という言葉はお祭りと同じ楽しいものと感じて歌う
- 42 「その日に向かって」切らないでつなげて
- 45 dim. はやわらかく大切に伸ばして。
- 46 「小さくても」すべての人々の生きているところをイメージする

- 47～間奏 共に生きる町があることを喜び合って踊っている様子をイメージする。(韓国のリズム)
- 56～57 ピアノの音を特に大切に聞く
- 58～ 付け足しにならないで最初の「共に生きる町」と違う何かをpで表現する
- 58 「共に生きる町は」対象を決めて呼びかけるように
- 59 「ないんですか」あるんですね、と疑わない気持ちを表現してうたう
- 62 「おしえてください」人類が到達していない未来を掴みながら、肯定的にうたう
- 63 「教えてください」共有の気持ちを持つ。Qは四分音符を丁寧に長めにうたって、次のピアノにつなげる
- 64～間奏 頭の中で「共に生きる町」旋律がなっているのを感じて次につなげる
- 67 円を描くように息の流れでうたい、音が下がらないように。「ともにいき」までは同じ音。
「そのまちを」「その」はやわらかくうたう。まだない理想郷。
- 70 最後のピアノの音。「あるよね?」「どこにあるのか」という両方の音に聞こえる。
(どちらなのか林光さんにきいておけばよかった。)